

## 第 3 回次世代イニシアティブ廃炉技術カンファレンス (NDEC-3) (案)

福島第一原子力発電所の安全な廃止措置が長期に亘る国家課題となる中、文部科学省の委託事業である「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 廃止措置研究・人材育成等強化プログラム」においては、東京大学、東北大学、東京工業大学、福井大学、福島工業高等専門学校、福島大学、地盤工学会の 7 機関が、廃炉に関係する研究と共に、今後の原子力廃止措置を担う若い研究者や技術者の育成に取り組んでいます。今後の我が国における原子炉の廃止措置を考えるとこれを担う人材の育成は、現在喫緊の課題であり、最重要課題の一つであると考えております。

そこで、本プログラム参加の 7 機関及び委託者である文部科学省、事務局をつとめる原子力安全研究協会等関係機関は、廃止措置に関係する若者が互いに成果を発表し切磋琢磨すると共に、実際に現場で苦勞している企業の方と意見交換することでモチベーションを高めることを目的に、学生のための「次世代イニシアティブ廃炉技術カンファレンス (NDEC)」を平成 28 年度から開始しました。

一昨年度、昨年度に続き、本年度も以下の要領で NDEC-3 を行います。

共催 文部科学省、東京大学、東京工業大学、東北大学、福島大学、福島工業高等専門学校、福井大学、地盤工学会、原子力安全研究協会、福島県富岡町  
後援 (予定) 日本原子力学会、原子力損害賠償・廃炉等支援機構、日本原子力研究開発機構、国際廃炉研究開発機構

日程 平成 30 年 3 月 19 日 (月) 9:20~17:30  
会場 富岡町文化交流センター学びの森 (福島県双葉郡富岡町)  
内容 廃炉の各課題 (遠隔操作技術、放射性廃棄物の処分等) に対する基調講演  
学生達による廃炉に関する研究成果や取組紹介の口頭発表  
学生および企業による研究開発課題への取組みのポスター発表  
地元高校生との企画 (予定)  
優れた発表に対する表彰

プログラム (予定)

9:20-9:50 ご挨拶(文部科学省、富岡町、原子力損害賠償・廃炉等支援機構)  
10:00-11:00 オーラルセッション (第 1~3 会議室、小ホール)  
11:10-12:40 オーラルセッション (第 1~3 会議室、小ホール)  
12:40-13:10 昼食  
13:20-15:00 ポスターセッション (2 階又は 1 階広場)  
高校生対象の企画  
15:10-16:00 基調講演 2 件 (大ホール)  
16:10-17:30 表彰式及び交流会 (1 階広場及び 2 階)

参加費 無料 (なお、交流会費は社会人 3000 円、学生無料)

申込み案内ページ <http://www.robot.t.u-tokyo.ac.jp/NDEC3> (予定)

<参考>

昨年度の実施風景 (2017 年 3 月 2 日 @東京工業大学 大岡山キャンパス 西 9 号館他)



<お問い合わせ先>

NDEC-3 事務局 (東京大学大学院工学系研究科事務局内)

東京都文京区本郷 7-3-1

Tel & Fax. 03-5841-6996

E-mail : [ndec3@robot.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:ndec3@robot.t.u-tokyo.ac.jp)

<実行委員会>

委員長 岡本孝司 (東京大学) 副委員長 實川資朗 (福島高専)

幹事 鈴木俊一 (東京大学)、青木孝行 (東北大学)、小原徹 (東京工業大学)、高貝慶隆 (福島大学)  
宇埜正美 (福井大学)、小峯秀雄 (早稲田大学)、青柳克弘 (福島高専)

委員 新堀雄一 (東北大学)、渡邊豊 (東北大学)、小林能直 (東京工業大学)、佐藤勇 (東京都市大学)、  
山口克彦 (福島大学)、川崎大介 (福井大学)、後藤茂 (地盤工学会)、鈴木誠 (千葉工大)、  
小野喬 (原子力安全研究協会)、宮本拓人 (原子力損害賠償・廃炉等支援機構)、  
茶谷恵治 (日本原子力研究開発機構)、今村功 (国際廃炉研究開発機構)、  
田村雄介 (東京大学)、高橋隆行 (福島大学)、成瀬継太郎 (会津大学)、鈴木茂和 (福島高専)